

海外自治体幹部交流協力セミナー2022（ニューヨーク事務所管内）

事業概要

地方交流事業テーマ：高岡の魅力を活かした交流促進による持続可能なまちづくり

海外参加者数：5名

Lindsey Gray（リンジー グレイ）
州政府協議会（CSG）地域部長（南部地域）
Elana Arthurs（イラーナ アーサー）
オンタリオ州自治体実務者協議会（AMCTO）会長
Molly Ramsdell（モリー ラムスデル）
全米州議会議員連盟（NCSL）副会長（連邦・州関係部）
Jeff Renaud（ジェフ レノー）
カナダ自治体管理者協議会（CAMA）首席行政官
Alex Ameri（アレックス アメリ）
カリフォルニア州ヘイワード市 部長（建設部）

日程：

月日	内容
10/24(月)	○来日、オリエンテーション
10/25(火)	【東京セミナー】 ○講義：日本の地方自治（明治大学 木村俊介教授） ○外務省職員との意見交換会 ○バスツアー（観光） ○総務省総括審議官表敬、総務省職員との意見交換会、 ○クエア主催歓迎レセプション
10/26(水)	【東京セミナー】 ○視察：浅草エリア・仲見世、深川江戸資料館 ○自由行動（皇居東御苑 散策）
10/27(木)	【移動／高岡市における地方交流事業】 ○高岡大仏見学、正副議長表敬、高岡市行政説明、高岡商工会議所 正副会頭表敬・松 楓殿の見学、高岡市主催歓迎レセプション
10/28(金)	【高岡市における地方交流事業】 ○視察：国宝瑞龍寺、御車山会館、山町筋 ○行政説明：御車山会館
10/29(土)	【高岡市における地方交流事業】 ○視察：金屋町散策、株式会社能作（工場見学、ぐいのみ製作体験）
10/30(日)	【高岡市における地方交流事業】 ○視察：万葉歴史館、勝興寺、ZIBA
10/31(月)	【高岡市における地方交流事業】 ○行政説明：環境政策課 ○視察：高岡市ストックヤード、高岡広域エコ・グリーンセンター

	○帰国意見交換会 ○クレア主催夕食会
11/1(火)	【高岡市における地方交流事業／移動】 ○東京へ移動 ○自由行動
11/2(水)	○帰国

【 10 月 24 日(月)】

参加者来日

ホテルにてセミナー概要の説明や事務連絡を行った。

【 10 月 25 日 (火) 】

(1) 講義：日本の地方自治

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 木村俊介教授による講義を受講。参加者はとても関心があったため、質疑応答では、日本の人口問題・過疎化や、低い投票率の理由などについていくつかの質問があった。



(2) 外務省職員との意見交換会

外務省地方連携推進室の首席事務官より、地方連携推進室及び在外公館における取組について説明があり、その後意見交換を行った。姉妹都市交流（ハイワード市と船橋市）や観光のお話、地方自治体の魅力をどのように海外へ発信するかについて説明もあった。



(3) 総務省表敬、総務省職員との意見交換会

総務省総の大臣官房総括審議官を表敬訪問した後、会議室で総務省職員より、地方自治体における課題の説明を実施した。

まず、表敬では総括審議官より、東京の観光や明後日の高岡市の訪問についてお話があった。表敬訪問後は、総務省の職員より日本の地方自治体における課題（過疎化）の発表が行われた。意見交換会では、コロナ後の観光状況やリモートワークのメリット・デメリットなどについて話した。



4) クレア主催歓迎レセプション

赤坂エクセルホテルにて開催。参加者5名のほか、クリアから常務理事をはじめ5名が参加。



【 10月26日（水） 】

(1) 視察：浅草エリア・仲見世、深川江戸資料館

(2) 自由行動（皇居東御苑 散策）

午前中は、浅草エリア・仲見世を訪問した。参加者は仲見世でだるまや招き猫、お守りなどの小さいお土産を購入したり、浅草寺でお参りをした。午後に深川江戸資料館を訪れ、江戸時代の町並みを再現した展示室の視察ができ、日本文化への見識が広まった。

最後に、自由時間があったため、参加者は皇居東御苑でのんびり散策しつつ、園内の歴史的な雰囲気を感じることができた。



【 10月27日（木） 】

(1) 視察：高岡市へ移動・高岡大仏

高岡市へ到着後、高岡大仏の近くにある旅館で和食料理を食べた。その後、高岡大仏を見学した。参加者は住宅街の中にある大仏に驚き、魅力を感じることができた。



(2) 高岡市正副議長表敬

高岡市役所に移動し、正副議長の表敬が行われた。記念品交換の後に、高岡市議長から高岡市のお魚や伝統工芸についてお話があった。せっかくの機会だったため、市の議会室を特別に見学させていただいた。



(3) 高岡市職員による行政説明 # 1

正副議長表敬に引き続き、市の企画課の職員による行政説明が実施された。まず、高岡市の概要（人口や、市役所の組織、予算など）について説明があり、歴史や産業について紹介をいただいた。最後に、高岡市の持続可能なまちづくりを実現する取組等についてお話もあった。参加者からは市の「未来政策部」の役割や、どのように観光客を増やすかという質問があった。



(3) 高岡商工会議所 正副会頭表敬・松楓殿の見学

その後、高岡商工会議所に移動し、正副会頭を含め5名との表敬が実施された。参加者は地元に住む経営者として、どのような課題を抱えているのかをお尋ねした。また、高岡市は水力発電とアルミニウム産業が発展しているという話を伺った。最後に、1階で展示されている松楓殿（松楓の間）の説明を受け、集合写真を撮った。



(4) 高岡市主催歓迎レセプション

ホテルニューオータニにて、高岡市主催の歓迎レセプションが行われた。豪華な料理が出されて、市長の挨拶と共に暖かい歓迎を受けた。

レセプションの後半では、出席者は演舞を見ることができた。津軽三味線やオリジナルの楽曲の演奏のほか、獅子舞の披露があり、参加者は最後まで楽しい時間を過ごした。



【 10月28日（金） 】

（1）視察：国宝瑞龍寺

午前中に、国宝である瑞龍寺を訪問した。住職から特別に案内され、お寺の歴史まで丁寧に説明していただいた。敷地内はとても広いため、立派な仏殿を見学することができた。瑞龍寺の一番奥の建物「法堂」も見られて、参加者は歴史に関心を持ちながら満喫できたと思われる。



（2）高岡市職員による行政説明 # 2

午後に、高岡御車山会館にて高岡市の景観みどり課から「高岡市の歴史・文化を活用したまちづくり」の発表があった。高岡市のルーツや、商工業都市高岡の発展、町並みの一部消失と町並み保存の動き、町並み保存の取り組み・周辺環境の整備、町並みの活用など、様々なテーマについてプレゼンテーションが行われた。参加者からは、町並み保存の取り組みのための費用の負担個所について、質問などがあつた。



（3）視察：高岡御車山会館

行政説明が終わった後、同じ施設内で高岡御車山会館を見学した。地元のお祭りである「高岡御車山祭」について説明を受けながら、お祭りの伝統と歴史を知ることができた。印象的は実物の山車を見られたことだった。なかなか見どころがあると参加者からの意見をいただいた。



(4) 視察：山町筋（菅野家見学・山町ヴァレー）

最後に、土蔵造りの建物が点在している「山町筋」を訪問した。まず、昔の商家の邸宅である「菅野家」にお邪魔させていただき、実際に菅野家の代表のご本人からご案内をいただいた。その後、複合商業施設である「山町ヴァレー」を訪れた。こちらは古い町屋と蔵を改装した施設で、複数の店舗が出店している。山町筋の歴史の説明を聞きながら、参加者は高岡市の街並み保存の取り組みについて理解することができた。



【 10月29日（土） 】

(1) 視察：金屋町

午前、重要伝統的建造物群保存地区である「金屋町」を視察した。銅器および鋳物のお店や工場が散在しており、ガイドさんの説明を丁寧に聞きながら、参加者は高岡市の伝統工芸に触れられた。路地裏の工房や鋳造所にも見学させていただいたことで、貴重な機会となった。



(2) 視察：能作（工場見・学ものづくり体験）

午後は、鋳物メーカーである株式会社能作を訪問した。最初に工場を見学し、ハイレベルな鋳物の技術を実際に見ることができた。見学が終わった後に、参加者は鋳物製作の体験でぐい呑を造った。スタッフの方が英語で丁寧にサポートしていただき、参加者は楽しく鋳物作りを体験した。参加者は伝統的工芸品である高岡銅器の魅力に触れて、最後に皆さんはたくさんのお土産を購入した。



【 10月30日（日） 】

（1）視察：高岡市万葉歴史館

万葉集を中心としている専門施設「高岡市万葉歴史館」を訪れ、万葉の時代について学んだ。展示内容の文章が日本語のみにかかわらず、参加者は日本最古の和歌集に関心を持った。



（2）視察：勝興寺・ZIBA

午後に、国宝に指定された勝興寺を視察。20年を超える期間を経て、修復のプロジェクトが完了したため、参加者は勝興寺の木材建築や屋根の構造で魅力を感じた。勝興寺の関係者から案内され、広い敷地内を回りながら、ゆっくり本堂を見られた。歴史を感じるお寺であり、参加者にとってとても見応えがあったと思われる。

その後に、公益財団法人高岡地域地場産業センター（ZIBA）に立ち寄り、お土産及び記念品を購入した。



【 10月31日（月） 】

（1）高岡市職員による行政説明 # 3

最終日を迎え、高岡市ストックヤードで高岡市環境政策課の関係者から「カーボンニュートラルの実現に向けて」の発表があった。カーボンニュートラルを達成するための取り組みやロードマップの説明があった。参加者から意見があり、この目標を目指すためには、積極的な計画が重要だと話した。その後、高岡市ストックヤード（ごみの持ち込み施設）についてお話があった。高岡市のごみの収集と分別の試みやストックヤードの利用について説明を受けた。参加者からはコンポスト（堆肥化）の取り組みを進めているのかという質問もあった。



（2）視察：高岡市ストックヤード

高岡市ストックヤードについて説明を聞いた後に、実際に施設の様子を見学した。



（4）高岡広域エコ・グリーンセンター

続いて、ストックヤードの近くにある高岡広域エコ・グリーンセンター（ごみ焼却施設）を訪問した。高岡地区広域圏事務組合や日本の廃棄物処理制度と、センターでの処理対象廃棄物についてお話を聞いた。実際に施設の設備を見ることができ、参加者はごみピットとごみクレーンに興味を持たれた。



(5) 意見交換会

セミナーの締めくくりとして帰国前意見交換会を開催した。市長からのご挨拶をいただいた後、参加者が順番に高岡市のセミナーに関する意見や感想を述べた。皆さんは高岡市でとても素晴らしい経験し、歴史や文化についてたくさん学ぶことができた。

しかし、参加者にとって地域の活性化のために、地域住民の人材育成や地域としての魅力を向上することが重要だと述べられた。スタートアップ企業や観光産業のサポートがあれば、若い世代も地方の魅力を知ることができ、働きたい・住みたいという気持ちになるかもしれないという助言があった。最後のアドバイスは、高岡市はたくさんの計画を立てているようだが、計画のままで終わることがないように、行動し実現することが大事だと団長が話した。市長も参加者の発言に全て同意し、今後は色々改善しながら全力で取り組みたいと誓った。高岡市と参加者にとっては貴重な交流機会となった。



(6) クレア主催帰国前夕食会

最後に、高岡市幹部職員と帰国前夕食会が開かれた。高岡市長をはじめ、議長や高岡市生活環境文化部長に出席していただいた。参加者は高岡市での滞在について振り返りながら、とても楽しい夕食会を過ごすことができた。



【11月1日（火）】

参加者は高岡市から東京に移動し、午後は自由行動。

【11月2日（水）】

参加者帰国

CLAIRの担当者が見送りました。